

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	196 社会福祉協議会その他の社会福祉団体助成							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 社会福祉係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分	既存事業	事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
						<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令					事業体制	補助金（直接）		
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
地域におけるきめ細かな福祉活動の支援を行うことで地域福祉の充実を図る。					<ul style="list-style-type: none"> つくば市社会福祉事業費補助金交付要綱の規定に基づき、社会福祉法人の中核的団体である社会福祉協議会に職員人件費として補助金を交付する。 電話相談を通じて自殺予防のための活動を行っている茨城いのちの電話には、相談員育成として補助金を交付する。 			
評価								
事業計画					活動実績			
<ul style="list-style-type: none"> つくば市社会福祉協議会職員の人件費及び茨城いのちの電話に対する相談員育成のための研修費に対し補助金を交付する。 自主運営に向けての組織のあり方、各種事業の見直しについて協議を行う。 					<ul style="list-style-type: none"> 自主運営に向けての組織のあり方、各種事業の見直しについて関係各課と協議を行った。 つくば市社会福祉協議会補助金 154,502,647円 茨城いのちの電話補助金 100,000円 			
成果					課題			
社会福祉協議会が実施する各種事業が安定・充実し、地域福祉活動の活性化が図られた。					社会福祉協議会補助金については、今後も引き続き自主運営に向け組織のあり方、福祉ニーズにあった各種事業の見直しを図っていくことが求められている			
改善目標（R02年度にむけて）								
社会福祉協議会の自主運営に向けての組織のあり方、各種事業の見直しについて、引き続き検討していく。								
指標の推移								
1	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	159,277	131,535	0	0
事業費計		(千円)	159,277	131,535	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	20.00	19.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,462	1,404		
事業コスト		(千円)	160,739	132,939		

R02年度当初積算根拠	つくば市社会福祉協議会補助金 131,535,000円					
-------------	-----------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	9,697	13,232	0	0
事業費計		(千円)	9,697	13,232	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	731	704		
事業コスト		(千円)	10,428	13,936		

R02年度当初積算根拠	地域福祉推進事業委託料 14,960,000円 (内訳) ボランティア育成：10,598,000円、住民参加型在宅福祉サービス：2,456,000円、福祉相談：1,906,000円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	198 茨城県都市福祉事務所長会事務								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 社会福祉係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行			
根拠法令					事業体制	職員のみ			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
福祉事務所所管業務の課題を県内広域的に解決できる体制づくりを構築する。					・県内都市福祉事務所長が相互に情報交換を行い、所管業務の課題を解決するため研修会を実施する。（年2回）				
評価									
事業計画					活動実績				
・年度内に2回開催される県内都市福祉事務所長研修会に出席し、相互に情報交換をし、所管業務の課題について検討する。					県内都市福祉事務所長研修会に年間2回出席して、相互に情報交換を行い、所管業務の課題について検討した。				
成果					課題				
福祉事務所所管事業の情報共有や課題の抽出、他市の対応について確認ができた。									
改善目標（R02年度にむけて）									
指標の推移									
1	指標名	()							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	()							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	15	22	0	0	
事業費計		(千円)	15	22	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.05			
		時間外勤務 (時間)	10.00	5.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	731	366			
事業コスト		(千円)	746	388			

R02年度当初積算根拠	特別旅費 県都市福祉事務所長会議 12,000円×1人×1回=12,000円						
	県都市福祉事務所長会議負担金 10,000円						

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	3	64	0	0	
事業費計		(千円)	3	64	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.05			
		時間外勤務 (時間)	10.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	731	353			
事業コスト		(千円)	734	417			

R02年度当初積算根拠	医療費：30,000円×2人 交通費：1,000円×35人 弁当代：500円×10人
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	4	28	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	-4	-28	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.05		
		時間外勤務 (時間)	0.00	5.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	366		
事業コスト		(千円)	0	366		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	1,201	600
事業費計		(千円)	0	0	1,201	600
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.25		
		時間外勤務 (時間)	0.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	1,840		
事業コスト		(千円)	706	1,840		

R02年度当初積算根拠	地域福祉計画策定委員謝礼 8,000円×15名×5回					
	地域福祉計画策定支援業務委託 500,000円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	202 社会福祉審議会事務								
戦略プラン						担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 社会福祉係		
総合戦略						新規・継続	継続		
						事業分類	任意的事務		
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費								
要求区分		事業期間				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
個別計画							<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
根拠法令						事業体制	<input type="checkbox"/> 実行		
							<input type="checkbox"/> 評価・検証		
						市長公約			
概要									
事業の目的					事業の概要				
市長の諮問に応じ、社会福祉に関する重要な事項を調査審議するとともに社会福祉行政の円滑な推進を図る。					・市長が任命した学識経験者及び市職員30人以内で組織されたつくば市社会福祉審議会が、社会福祉に関する重要な事項を調査審議し、市長の諮問に対して答申を行う。				
評価									
事業計画					活動実績				
・審議案件が生じた場合は審議会を開催する。									
成果					課題				
改善目標（R02年度にむけて）									
指標の推移									
1	指標名	()							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	()							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.00			
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	706	0			
事業コスト		(千円)	706	0			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
休止		

方向性		
市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない、又は不明である。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20			
		時間外勤務 (時間)	20.00	30.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	1,462	1,431			
事業コスト		(千円)	1,462	1,431			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由						
--------	----	--	--	--	--	--	--

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	204 民生委員推薦会事務									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 社会福祉係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	01-030101-12 民生委員推薦会に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input checked="" type="checkbox"/> 実行				
根拠法令	民生委員法				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>民生委員推薦会は、市長の諮問に応じ、民生委員児童委員及び主任児童委員候補者の適性を審議し、民生委員・児童委員及び主任児童委員として、資質の高い人材を確保する。</p>					<p>・市町村の議会議員、民生委員、教育関係者など14名の委員で組織し、民生委員に欠員が生じたとき、又は一斉改選時に民生委員児童委員及び主任児童委員として適正な人材を県に推薦するため、選考を行う。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<p>※3年に一度の一斉改選 8月 推薦会を開催 全地区の民生委員児童委員の候補者の推薦を行う。 民生委員児童委員に欠員が生じた場合には、県の審議会開催に合わせて推薦会を開催し、候補者を推薦する。</p>					<p>推薦会開催日 8月8日 265名推薦 12月23日 11名推薦</p>					
成果					課題					
<p>3年に一度の一斉改選の民生委員の推薦ができた。 年度途中で退任した民生委員の補充を行うことができた。</p>					<p>後任候補者の擁立が難しくなっている</p>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<p>区会等に協力を仰ぎながら後任候補者の擁立に努める。</p>										
指標の推移										
1	指標名	推薦会開催件数					(回)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	2.0	2.0	3.0	2.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	25	36	41	41
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	205	119	360	360
事業費計		(千円)	230	155	401	401
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.10		
		時間外勤務 (時間)	20.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,462	731		
事業コスト		(千円)	1,692	886		

R02年度当初積算根拠	委員報酬	7,100円×11名×4回=312,400円
	費用弁償	2,000円×11名×4回=88,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	205 民生委員児童委員協議会調整事務									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 社会福祉係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030101-13 民生委員活動に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令					事業体制	補助金（直接）				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
各地区民生委員児童委員協議会の定例会及び事項別研修・視察研修を企画立案し、各民生委員児童委員及び主任児童委員の資質向上を図り、安心して安全なまちづくりを実施し、地域福祉を推進する。					<ul style="list-style-type: none"> 定例会では、行政担当者を講師として、生活保護制度、児童母子福祉、障害福祉、高齢福祉等、福祉全般に関する行政手続を研修し、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。 支部別研修・事項別研修・視察研修を通し、福祉施設の現状視察や各々の事例検討を行い、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 単位民生委員児童委員協議会 各地区月1回定例会開催 民生委員連絡協議会 4月 総会 6～10月 研修 3月 理事会 										
成果					課題					
改善目標（R02年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	民生委員が受けた相談件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	5,996.0	5,406.0	5,640.0	6,778.0	7,528.0	6,490.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	30,133	0	0	0
事業費計		(千円)	30,133	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.00		
		時間外勤務 (時間)	40.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,923	0		
事業コスト		(千円)	33,056	0		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
--------	----	--

方向性		
市民ニーズ		
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況		
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与		
行政が関与する必要性について		
優先度		
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	206 行旅死病人等取扱事務									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 社会福祉係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	01-030101-14 行旅死病人取扱いに要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画						
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令	行旅病人及行旅死亡人取扱法				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>引取人がなく火葬等を行うものがない行旅死亡人について、行旅病人及行旅死亡人取扱法、墓地埋葬等に関する法律に基づき、行旅死亡人について火葬・埋葬を市が行い、人道的支援を行う。</p> <p>また、行旅病人の救護についても市が行う。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 行旅病人の生活・養護についての相談指導、必要な援護措置縁故者の調査 行旅死亡人の葬祭執行、遺骨の保管、縁故者の捜査、慰留金品の保管処分その他必要な調査及び同伴者（行旅病人又は行旅死亡人に同伴し、救護を必要としている者）の救護 告示、官報への掲載 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 行旅死病人等が発生した際には、法律の定めるところにより、適切に行旅死病人を取り扱う。 					行旅死亡人の火葬及び納骨 4件					
成果					課題					
法律の定めるところにより、適切に行旅死病人を取り扱うことができた										
改善目標（R02年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	行旅死病人発生件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	4.0	4.0	1.0	4.0	3.0	4.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	659	323	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	10	0	1,020	1,020
事業費計		(千円)	669	323	1,020	1,020
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.05		
		時間外勤務 (時間)	20.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,462	353		
事業コスト		(千円)	2,131	676		

R02年度当初積算根拠	行旅死病人納骨謝礼 (御布施)	60,000円×3体=180,000円
	官報広告料	20,000円×3回=60,000円
	死体検案料	50,000円×3体=150,000円
	行旅死亡人処置委託料	169,600円/体×3体×1.10=559,680円
	遺体保管料	5,000円×5日=25,000円
	納骨堂管理委託料	10,000円/年
	火葬料 市内	5,000円×2回=10,000円
	火葬料 市外	50,000円×1回=50,000円

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない、又は不明である。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	207 戦没者追悼式事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 社会福祉係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030101-15 遺族等援護に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画						
個別計画				<input type="checkbox"/> 実行						
				<input type="checkbox"/> 評価・検証						
根拠法令					事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
先の大戦において尊い犠牲となられた戦没者及びその遺族に対し、追悼の意を表するとともに、ご遺族のご労苦に対して深い敬意を表し、併せて恒久の平和を祈念するため。					・つくば市遺族連合会の協力を得ながら、厳粛に、かつ、安全に戦没者追悼式を挙げる。					
評価										
事業計画					活動実績					
・戦没者追悼式 10月17日挙行					遺族会役員会等で内容やバスルートの検討を行い、10月17日に433人が参加し戦没者追悼式を開催した。遺族会以外の参加者を募るため、市のホームページで募集を行った。					
成果					課題					
バスルートの変更を行い、コストを削減し効率よく参加者の送迎ができ、滞りなく追悼式を開催できた。					引き続き、参加者が減少しているため、参加者を増やしていく工夫が必要である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
引き続き、式典の在り方などを遺族会と検討する。										
指標の推移										
1	指標名	戦没者追悼式参列者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	700.0	700.0	700.0	500.0	500.0	500.0	500.0		
	実績	505.0	435.0	466.0	418.0	416.0	433.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	1,626	1,922	0	0	
事業費計		(千円)	1,626	1,922	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.30			
		時間外勤務 (時間)	50.00	30.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	3,654	2,193			
事業コスト		(千円)	5,280	4,115			

R02年度当初積算根拠	【07報償費】	講師謝礼 30,000円 (30千円)
	【10需用費】	事務用消耗品費 (養生テープ、模造紙、油性マーカー、式辞用巻紙) 14,795円 食糧費 供物：440円×530個×1.10=256,520円 弁当：400円×530個×1.10=233,200円 お茶：100円×530本×1.10= 58,300円
	【11役務費】	来賓返信用ハガキ代 63円×60名=3,780円 (4千円)
	【12委託料】	舞台飾り付け委託料 (1式) 420,000円×1.10=462,000円 (462千円) (舞台飾り付け造花1,000本、持ち帰り用生花530本、献花用生花100本等)
	【13使用料及び賃借料】	(1,474千円) ※行政バス廃止に伴う増 つくば市戦没者追悼式送迎バス借り上げ料 (16台) 825,000円 (内訳) 中型：50,000円×6台×1.10=330,000円 小型：45,000円×10台×1.10=495,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,000	1,000	1,649	0
事業費計		(千円)	1,000	1,000	1,649	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.10	0.00	
		時間外勤務	(時間)	10.00	0.00	
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	731	0		
事業コスト		(千円)	1,731	1,000		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
--------	----	--

方向性		
市民ニーズ		
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況		
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与		
行政が関与する必要性について		
優先度		
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10			
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	706	706			
事業コスト		(千円)	706	706			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	50.00	60.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,243	2,183		
事業コスト		(千円)	2,243	2,183		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	177	177	195	0
事業費計		(千円)	177	177	195	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.70	1.70		
		時間外勤務 (時間)	193.00	440.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	12,476	12,615		
事業コスト		(千円)	12,653	12,792		

R02年度当初積算根拠	旅費：24,000円 需用費：72,000円 委託料：99,000円					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	455	0	0	0
	県支出金	(千円)	243	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	555	1,318	1,340	1,340
事業費計		(千円)	1,253	1,318	1,340	1,340
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.10		
		時間外勤務 (時間)	30.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,193	731		
事業コスト		(千円)	3,446	2,049		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	219 つくば市災害見舞金支給事業									
戦略プラン						担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 社会福祉係			
総合戦略						新規・継続	継続			
						事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030401-11 災害救助に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間								
個別計画										
根拠法令					事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
災害被災者に見舞金を支給することにより、被災者の自立の助長と保護を図る。					・火災及び床上浸水等の被災者に対し、被害の程度や世帯員数により見舞金を支給する。					
評価										
事業計画					活動実績					
・火災及び床上浸水等の被災者に対し、被害の程度や世帯員数により見舞金を支給する。					災害見舞金支給件数 3件 120,000円					
成果					課題					
被災者の自立の助長と保護が図られた										
改善目標（R02年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	見舞金支給件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	5.0	2.0	4.0	7.0	5.0	3.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	140	120	300	300
事業費計		(千円)	140	120	300	300
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.10		
		時間外勤務 (時間)	30.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,193	731		
事業コスト		(千円)	2,333	851		

R02年度当初積算根拠	小規模災害による見舞金（全焼・全壊） 50,000円×6件＝300,000円					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	6,414	5,774	10,574	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,130	1,600	6,161	0
事業費計		(千円)	8,544	7,374	16,735	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	100.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	3,778	3,639		
事業コスト		(千円)	12,322	11,013		

R02年度当初積算根拠	積算根拠	
	08 旅費：3千円 10 需用費：7千円 12 委託料：13,832千円	
	積算根拠	
	19 扶助費：2,892千円 ◎国庫負担 3/4 →2,169千円 22 償還金利子及び割引料：1千円 生活困窮者自立支援事業費等国庫負担金に係る超過交付額返還金	

予算の方向性	理由	令和2年度よりつくば市社会福祉協議会へ事業を委託する。これまでの必須事業である自立相談支援事業、住居確保給付金制度に加えて任意事業である就労準備支援事業、家計相談支援事業を開始し支援体制を充実させる。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	017 生活保護事業									
戦略プラン	I	1	4	生活困窮者福祉の推進			担当部課 係名	保健福祉部社会福祉課 保護係		
総合戦略							新規・継続	統合		
							事業分類	法定事務		
予算科目	01-030301-11 生活保護対策に要する経費									
要求区分				事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
個別計画								<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画	<input type="checkbox"/> 実行	
根拠法令	生活保護法						事業体制	職員のみ		
							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
生活困窮者に対して必要な保護を行い、健康で文化的な生活を保障するとともに、その自立を助長する。					・国からの法定受託事務として、要保護者の困窮の程度に応じ、生活扶助、医療扶助、介護扶助等必要な費用を給付して自立を助長する。 ※R1年度から生活保護関連事業を複数統合					
評価										
事業計画					活動実績					
・生活困窮に関する相談 ・生活保護申請、受付、審査を経て生活保護の支給決定(開始) ・対象世帯への訪問及び援助 ・各種扶助(生活、住宅、教育、医療、介護、出産、生業、葬祭、施設事務費、就労自立給付金、進学準備給付金)の費用を支給する。					(単位：千円) 生活扶助費 575,663 住宅扶助費 226,530 教育扶助費 3,267 医療扶助費 1,216,981 介護扶助費 86,704 出産扶助費 469 生業扶助費 1,864 葬祭扶助費 7,108 施設事務費 6,226 就労自立給付金 85 進学準備給付金 200					
成果					課題					
					被保護世帯数の増加に伴い扶助費は増加しているが、特に医療扶助費の増加が著しい。					
改善目標 (R02年度にむけて)										
健康管理支援事業により被保護世帯に対し継続的に健康支援を実施し医療扶助費の適正化を図る。										
指標の推移										
1	指標名	生活保護申請者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	181.0	147.0	150.0	170.0	148.0	180.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	生活保護受給世帯数					(世帯)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	810.0	832.0	850.0	889.0	903.0	927.0	0.0		
	指標の概要									

	指標の概要							
3	指標名	医療券発行枚数 (枚)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	27,084.0	30,094.0	29,050.0	28,800.0	32,408.0	31,572.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	介護券発行枚数 (枚)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	6,217.0	6,738.0	7,193.0	7,260.0	8,114.0	9,198.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,547,098	1,625,114	1,582,324	0
	県支出金	(千円)	39,041	24,261	24,570	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	487,434	602,997	520,632	0
事業費計		(千円)	2,073,573	2,252,372	2,127,526	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	0		
事業コスト		(千円)	2,073,573	2,252,372		

R02年度当初積算根拠
 報酬：4,024千円 職員手当等：211千円 共済費：597千円 旅費：563千円 需用費：893千円
 役務費：4,422千円 委託料：10,184千円 使用料及び賃借料：4,624千円
 扶助費：2,104,919千円 ◎国庫負担 3 / 4
 ①生活扶助費：576,722千円 ②住宅扶助費：276,689千円 ③教育扶助費：5,515千円
 ④医療扶助費：1,147,179千円 ⑤介護扶助費：83,424千円 ⑥出産扶助費：590千円
 ⑦生業扶助費：2,594千円 ⑧葬祭扶助費：3,841千円 ⑨施設事務費：6,879千円
 ⑩就労自立給付金：286千円 ⑪進学準備給付金：1,200千円
 償還金利子及び割引料：1千円
 ①国庫支出金精算金：1千円

予算の方向性	理由	人口増加に伴う自然増及び低所得者層の高齢化により今後も被保護世帯の増加が見込まれる。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		